



Google Pixel10シリーズ

Pixel10シリーズは、Googleが2025年8月に発売したスマートフォンです。Pixel10は軽快な操作感と必要十分な性能を備えた標準モデルです。Pixel10Proは処理能力やカメラ、ディスプレイを強化した上位モデルで、高精細な写真や動画が楽しめます。Pixel10Pro XLはProと同等の性能に加えて大画面と大容量バッテリーを備え、長時間の利用にも適したさらに上位のモデルです。いずれも最新プロセッサ「Tensor G5」を搭載し、高速処理と快適な操作性を実現しています。性能は日常操作だけでなく、AIを活用した多彩な機能にも発揮されます。たとえば、必要な情報を先回りして提示する「マジックサジェスト」や、カメラ撮影の際に最適な構図を提案する「カメラコーチ」、通話中にユーザーの声でリアルタイム翻訳を行う「マイボイス通訳」などです。これらのAI機能はクラウドに依存せずオンデバイスで動作するため、通信環境に左右されず安定して利用できます。Tensor G5とGoogleのソフトウェアが連携し、Pixel10シリーズはAI時代に最適化されたスマートフォンとなっています。

Pixel10 / 10Pro / 10Pro XLの比較

	Pixel10	Pixel10Pro	Pixel10Pro XL
OS	Android 16	Android 16	Android 16
ディスプレイ	6.3インチ、 60 ~ 120Hz、 2,424×1,080 (FHD+)	6.3インチ、 1 ~ 120Hz、 2,856×1,280 (FHD+)	6.8インチ、 1 ~ 120Hz、 2,992×1,344 (QHD+)
重量	204g	207g	232g
プロセッサ	Google Tensor G5、 Titan M2	Google Tensor G5、 Titan M2	Google Tensor G5、 Titan M2
メモリ	12GB RAM	16GB RAM	16GB RAM
ストレージ	128GB / 256GB	256GB / 512GB	256GB / 512GB
充電	最大30W	最大30W	最大45W
ワイヤレス充電	最大15W	最大15W	最大25W
バッテリー容量	4,970mAh	4,870mAh	5,200mAh
背面カメラ	48MP+13MP+10.8MP	50MP+48MP+48MP	50MP+48MP+48MP
前面カメラ	10.5MP	42MP	42MP
生体認証	指紋認証、顔認証	指紋認証、顔認証	指紋認証、顔認証
防水／防塵	IP68	IP68	IP68
5G通信	Sub 6	Sub 6	Sub 6
Wi-Fi	Wi-Fi 6E	Wi-Fi 7	Wi-Fi 7



ホーム画面

ホーム画面は、アプリや機能などにアクセスしやすいようにステータスバーやウィジェット、ドックなどで構成されています。まずはホーム画面の各部を確認しておきましょう。

ステータスバー

通知アイコンやステータスアイコンが表示されます (P.14参照)。

スナップショット

日付のほかに、天気情報や予定などを表示するウィジェットです。このウィジェットは固定されています (Sec.016参照)。

スクリーン

アプリアイコンやフォルダ、ウィジェットなどを配置することができます (Sec.010、015参照)。

ウィジェット

天気や予定、ニュースなどの情報をアプリを開かずに確認することができます (Sec.015参照)。

ドック

アプリの候補を表示することができます (Sec.011参照)。

Google検索ウィジェット

キーワードを入力することで、Google検索をすばやく行うことができるウィジェットです。このウィジェットは固定されています (Sec.017参照)。



Googleレンズで似た製品を調べる

Googleレンズ



Googleレンズは、カメラで対象物を認識・分析することで、関連する情報などを調べることができる機能です。ここでは、Googleレンズで似た製品を検索する例を紹介します。好みの製品に近いものを探したい場合などに活用するとよいでしょう。

- 1 Google検索ウィジェットのをタップします。



- 2 検索の対象物にカメラを向けて、をタップします。



- 3 検索結果が表示されます。画面を上方向にスワイプし、検索結果を選んでタップすると、詳細を確認することができます。



MEMO Googleレンズで翻訳する

手順2の画面で「翻訳」をタップすると、レンズ越しの外国語の文章などを翻訳することができます (Sec.088参照)。

Googleレンズで植物や動物を調べる

Googleレンズ



Googleレンズでは、植物や動物を認識することができます。類似した種別がある場合は複数の候補が表示されます。公園や森などで、名前を知らない植物や動物を見つけたときに活用するとよいでしょう。

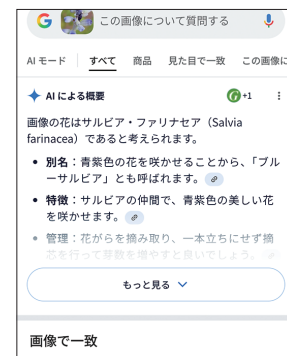
- 1 P.52手順2の画面で、カメラを植物や動物に向け、をタップします。



- 2 検索結果が表示されるので、画面を上方向にスワイプします。



- 3 詳細が表示されます。



TIPS QRコードを読み取る

手順1の画面や「カメラ」アプリでカメラをQRコードに向けて、表示されたURLやをタップするとWebページが表示されます。

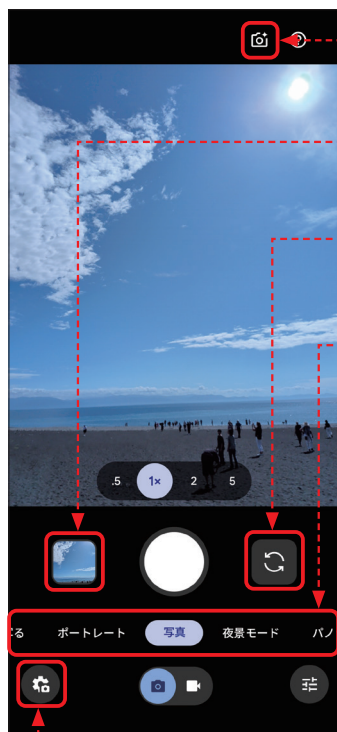


カメラを使いこなす



Pixel10は、48MPの広角カメラをメインに、13MPの超広角カメラと、5倍光学ズームに対応した10.8MP望遠カメラを搭載しています。ズームは最大20倍まで対応し、0.6倍・1倍・5倍・10倍といった倍率で高品質に撮影できます。Pixel10Pro/10Pro XLは、50MPの広角カメラ、48MPの超広角カメラ、そして5倍光学ズーム対応の48MP望遠カメラを備えています。さらに「超解像ズーム Pro」により最大100倍までデジタル拡大でき、0.5倍・1倍・2倍・5倍・10倍といった倍率で光学相当の高精細な撮影ができます。

「カメラ」アプリの画面



タップすると、カメラコーチが利用できます (Sec.046参照)。

サムネイルをタップすると、「フォト」アプリで直前に撮った写真・動画を確認することができます。

背面カメラ／前面カメラが切り替わります。

画面を左右にスワイブすると、モードが切り替わります (Sec.048参照)。

タップすると、設定パネルが表示されます。選択中のモードによって、モーション機能、タイマー、フラッシュ、動画のフレーム数などの設定を行うことができます。



カメラの設定を変更する

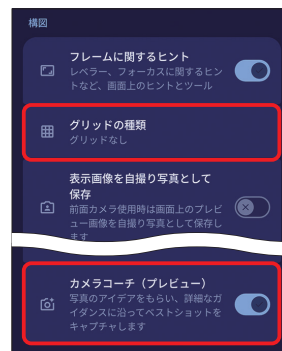
左下の $\odot$ をタップし、 $\odot$ をタップすると、「カメラ設定」画面が表示されます。ここから位置情報の保存やグリッドなど、カメラに関するさまざまな設定を行うことができます。ここで紹介している項目のほか、「高速アクセス」「高度なキャプチャ」もあります。

● 全般



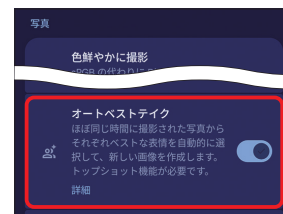
【位置情報を保存】で、位置情報を保存するかどうかを切り替えられます。

● 構図



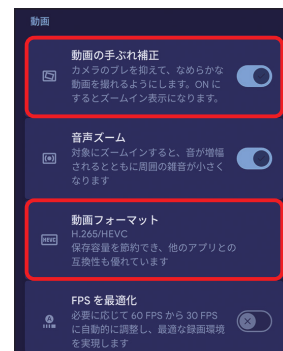
【グリッドの種類】で、[3×3] [4×4] [黄金比] からグリッドが選択できます。【カメラコーチ (プレビュー)】をオンにすると、アドバイスを受けながら撮影できます (Sec.046参照)。

● 写真



【オートベストテイク】をオンにすると、同時時間帯に同じ構図で撮影した写真の中から、ベストな表情の顔をものをAIで合成できます (Sec.047参照)。

● 動画



【動画の手ぶれ補正】でオン／オフを切り替えられます (Sec.050 MEMO参照)。【動画フォーマット】で [H.265/HEVC] に設定すると、小さなファイルサイズで保存され、保存容量を節約できます。

AIで画像を生成する

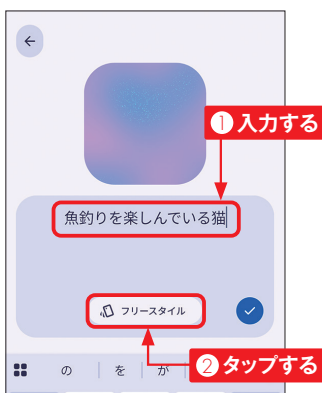


「Pixel スタジオ」アプリを利用すると、画像の生成ができます。たとえば、3Dアニメーションやスケッチ、水彩画、ステンドグラスなどのスタイルの画像を直感的な操作で作ることが可能です。

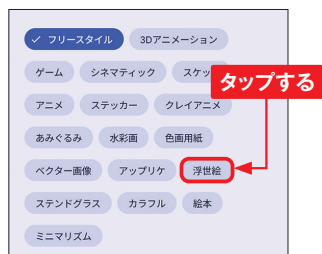
- 1 「Pixel スタジオ」アプリを起動し、[作成] をタップします。



- 2 入力欄に生成したい画像について入力し、[フリースタイル] をタップします。



- 3 スタイルを選んでタップします。



- 4 画像が生成されます。画像が気に入らない場合は、画面下のCをタップすると再生成されます。↓をタップすると画像が保存され、→ [削除] の順にタップすると削除されます。なお、生成された画像の履歴は、手順1の画面に表示されます。



周辺のスポットを検索する

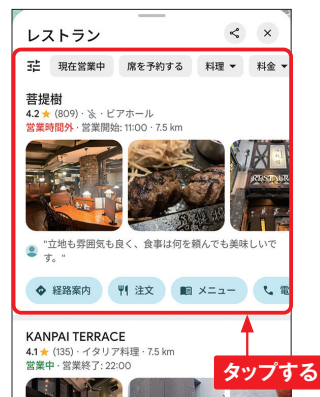


「マップ」アプリでは、表示しているエリアのスポットがカテゴリ表示されて、かんたんに検索することができます。「レストラン」「コンビニ」「駐車場」「ホテル」などのジャンルからすばやく絞り込んで、地図上で場所を確認したり、ほかのユーザーの評価や営業時間などを確認したりできます。

- 1 「マップ」アプリを起動します。検索したいエリアを表示して、上部のジャンルを選んでタップします。



- 2 周辺のスポットが表示されます。任意のスポットをタップすると詳細が表示されます。

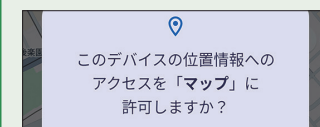


- 3 手順1の画面で、右端の[もっと見る]をタップすると、さらに多くのジャンルを選ぶことができます。



MEMO 位置情報の権限

「マップ」アプリなどGPSを利用するアプリは、初回に位置情報の権限を求める画面が表示されます。後から権限を変更する場合は、「設定」アプリの[位置情報]でアプリを指定して行うことができます (Sec.069参照)。



操作時の振動をオフにする

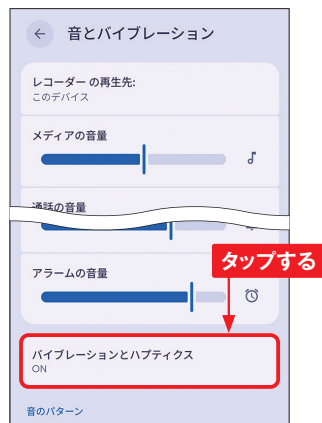


Pixel10では、キーボード入力やタップ操作のたびに微細な振動が発生（ハプティクス）し、誤操作を防いだり、タッチの確実性を高めたりします。もしこの振動が気になる場合は、オフに設定することができます。

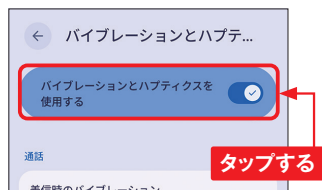
- 1 「設定」アプリを起動し、[音とバイブレーション] をタップします。



- 2 [バイブレーションとハプティクス] をタップします。

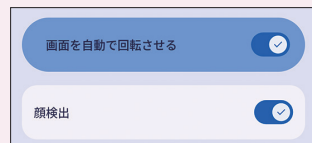


- 3 [バイブレーションとハプティクスを利用する] をタップしてオフにします。



TIPS 顔の向きに合わせて画面の向きを固定する

画面の自動回転をオンにすると、Pixel10を横向きにしたときに、意図せずに画面が横向きになることがあります。「顔検出」を使うと、顔の向きに合わせて画面の向きを固定することができます。手順1の画面で[ディスプレイとタップ] → [画面の自動回転]の順にタップし、[画面を自動で回転させる] → [顔検出]の順にタップしてオンにします。



スリープ状態で画面を表示する



Pixel10はスリープ状態でも、日時や通知アイコンなどの情報を画面に表示することができます。また初期設定では、画面をタップしたときや、Pixel10を持ち上げたときに日時や通知アイコンが表示されますが、これをオフにすることもできます。

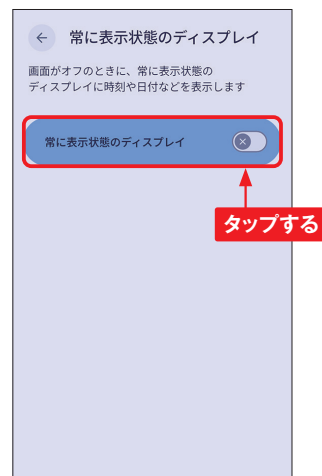
- 1 「設定」アプリを起動し、[ディスプレイとタップ] をタップします。



- 2 [常に表示状態のディスプレイ] をタップします。



- 3 [常に表示状態のディスプレイ] をタップしてオンにします。



TIPS 画面表示の設定

手順3の設定を行わずに、手順2の画面で[ロック画面]をタップし、[タップして通知を確認]、[持ち上げて通知を確認]をそれぞれタップして、次の画面でオフにすると、電源ボタンを押さないと画面が表示されなくなります。